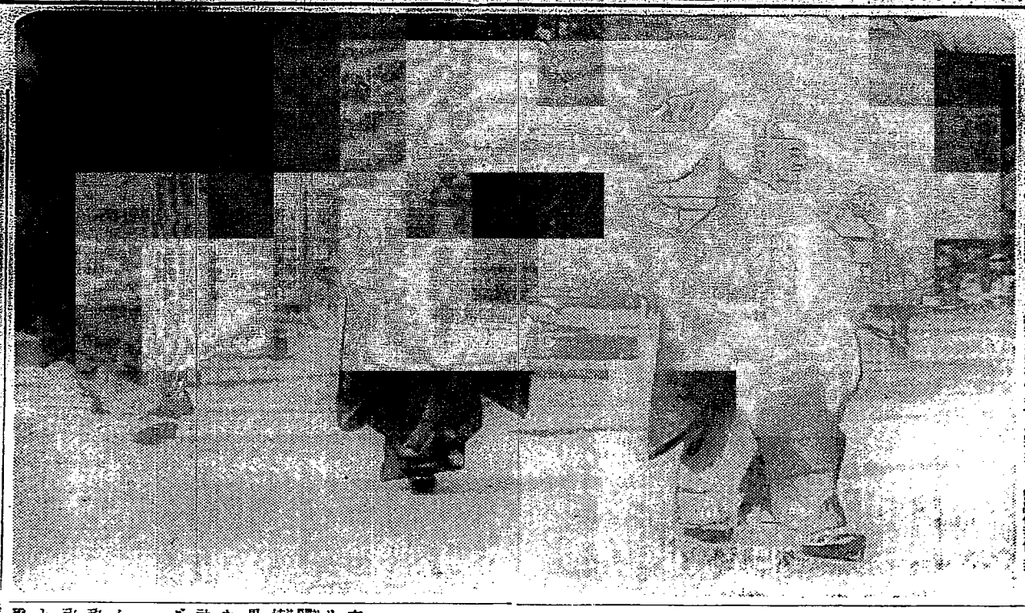
（第二類）（原稿配達）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十一年十月二十九日　臺灣日日新報　（木曜日）　第一万三千百四十四號　（一）

臺灣新民報 夕刊
十月二十八日
夕刊定価一部二錢

編輯兼發行人　佐々木　貞
發行所　臺北市新町四丁目臺新社
臺北市旭町（電話五八五）　基隆支局
臺中市宮町（電話三〇七）　臺中支局
臺南市錦町（電話三〇〇）　臺南支局
花蓮港街入船町　花蓮港支局
大阪市西區初梅通四ノ一（タカセビル内）　大阪支局
東京市芝區田村町二ノ一（電話銀座一八一四）　東京支局

秋陽麗らかに 臺灣神社大祭

幣帛供進使として 總督恭々しく參向



島の守護神臺灣神社大祭は二十八日午前八時より秋陽麗かにすゝ神社大前において定刻小林總督を幣帛供進使として參向、須田文書課長を隨へ參向、祭典を終つて午前十時半頃總督府に歸着した

幣帛供進使として參向に際會して山口宮司の手により供進の儀執り行はれ、山口宮司祝詞を奏し、幣帛供進使小林總督恭しく拜禮をなし次いで玉串の奉奠あり、更に幣帛供進使小林總督を始め參列者一同玉串を奉奠して拜禮を了つた

外相、訓令を手交

須磨總領事を招いて

【東京二十八日發】日支兩國間に懸案決定の爲め來る廿九日廣田外相と會見の筈になつてゐる南京の須磨總領事は二十八日午後一時半發の特急「富士」で東京に向つた、須磨總領事は廣田外相と會見の上、今回の會談に關する訓令を手交されるものと見られてゐる

既定方針に變りなし

【東京二十八日發】日支兩國間の懸案解決の爲め來る廿九日廣田外相と會見の筈になつてゐる南京の須磨總領事は二十八日午後一時半發の特急「富士」で東京に向つた、須磨總領事は廣田外相と會見の上、今回の會談に關する訓令を手交されるものと見られてゐる

圓滿解決を期待

車中でステート

【小田原二十八日發】政府の重大外交を遂行し二十七日夜東京發歸任の途に就いた、須賀總領事は車中發表の形式で左の如きステートメントを發表した

今回の會談に當つては支那側に於ても現地の事情を熟知する要路の重鎮を外相に復任せしめ、これに當つては、これに當つては

佛蘭西の人民戰線 將に崩壞の危機

急進社會黨に反政府熱

【パリ二十七日ベルテイナックス本社特派員發】急進社會黨はピアリッツ黨大會に於て人民戰線內閣の施政に批評を加へ友黨との協力關係につき再檢討を行つた結果、黨內の反政府的傾向が相當顯著となり、急進社會黨が從來占めてゐた閣內の主導的地位は漸次失はれ、ダラジエ氏は二十七日豫算閣議上程にブルーム首相に對し緊急會議を要請、政府の施政の方針に關し重大なる決意を表明するに至つたが、急進社會黨の態度は政府の施政プランと衝突するものと見られ、急進社會黨が政府支持を撤回するに至れば、人民戰線內閣は崩壞の危機に瀕するものと見られてゐる

外務省に大異動か

先づ駐滿大使館參事官に 澤田總領事を起用に決定

【東京二十八日發】駐滿大使館參事官澤田公使が本省に歸任の上は、同公使に代つて駐滿大使館に重要性決定、關東軍參謀長板垣中將と會見の上、滿洲國の內面指導に關する重要事項を協議するものと見られてゐる

行政機構の改革

總辭職しても 飽迄貫徹を計る

鐵相、決意を示す

革命軍政府 ・ 南國より承認

朝野を擧げて 此の難局を打開

廣田首相の車中談

政黨と官僚の 對立が尖銳化

次の議會で爆發か

【東京二十八日發】最近新聞紙上に政黨と官僚との對立が尖銳化し來つたが、政府は極めて注目すべき事實に來るべき議會に於ては何等かの形で爆發するのではないかと噂られてゐる、即ち官僚勢力の反撥は政民兩黨にも共通し、政黨側では官僚がファッショ的氣分にバックとして凡ゆる面に勢力を擴張し、官僚獨裁の實現に努力しつゝありとし、其の事例として官僚の獨走に依り選擧法を改正して選擧民を整理しようとする點、選擧の自由と公正を缺き、更に自己の立場を有利に導かんが爲の地方分權を阻害して中央集權の強化を計り、行政の擴張に資そんとする傾向があり、又最近展開する國際情勢の下に於ても國防國家の實現を實際的に促進せんとする點等擧げて數へ來つたものであるが、これに對し政黨側では、これ等官僚の橫暴に對し、政黨の存在意義を發揮すべく、今回の議會開會劈頭に於て政府の責任を追及し、政府の施政に對し重大なる決意を表明するやう要求する模樣であり、政府としても、これ等政黨側の動向に對しては、相當愼重なる態度を以て臨むものと見られてゐる

龍頭蛇尾か

御諮詢事項の整理

【東京二十八日發】臨時議會に於ける政府の施政一般に關する重要事項の整理につき政府は愈々具體的に乘り出すことゝなつたが、これが實現を計り各省の意見を調整するため、來る卅一日午前十時より首相官邸に於て第一回の閣議を開くことゝなつた、尙ほ政府は閣議に於ける決定事項を實現するため、來る十一月中旬召集の豫定の第七十回帝國議會に提出する豫定の法律案の整理をも併せて行ふ模樣である

樞密顧問官 近く補充

有力な候補者

【東京二十八日發】樞密顧問官は現在二名缺員となつてゐるが、これが補充については政府當局に於ても目下考慮中であつたが、大體內定の運びに至つた模樣である

その日その日

愛すべき哉

武田蘋太郎
富永謙太郎

常さん（十五）

臺拓創立總會

來月二十五日

行政整理の 具體案

來月中旬に 決定發表

總督府の 人事

各大臣更迭 說

無根

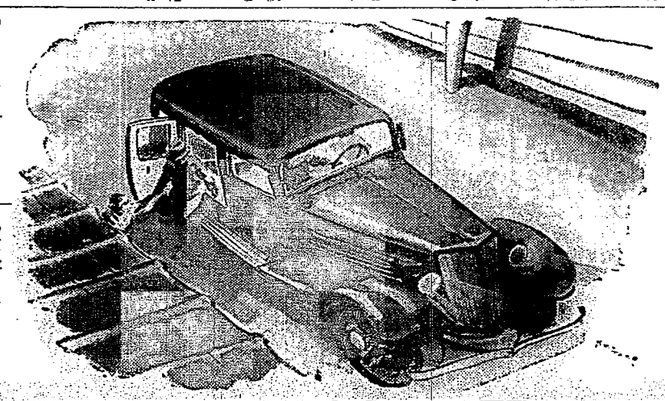
少女の父の告白!!

問題の少女の父 大家厚二

問題大で殖月一十『友之婦主』が相眞の件事『ちみのとびきべす

急告

「主婦之友」の一月號ではこの「別冊附錄の一型紙つき冬の婦人子供服の作方」が大評判です。簡單服が簡單にできるのに經濟的で經濟的に作れる大變な實用品ですから、一人でも多くの方にお求めになつて御覽下さいませ。書店には東京神田の主婦之友社へ大至急御註文を願ひます



聖上・神戸に還幸
扇港奉祝に輝く

【神戸二十八日發】電　聖上陛下には廿八日午後一時二十分神戸着御召艦にて御入港あらせられた　聖上陛下には廿九日再び神戸に御入港あらせられた　御召艦にて御出港あらせられ午後三時二十分神戸着御召艦にて

御殿女中（85）

（第十四回）

邦枝完二作　神保朋世画

春光（十二）

「これ、庄吉。――お前は、どうしてこのやうな……」

喉が詰って、思ふやうに物の言へないお高は、それでも庄吉の腕へ縋り付くと、髪を顔はせて襖の間から差す光の下を見詰めた。

「お嬢様。――」

「さ、もつとこつちへ向いて、あたしに顔をよく見せておくれ」

「な、なにをあたしに納せとえ。――お神つたら、お前はあのやうに固い約束をしておきながら、どその可愛い娘と……」

「と、とんだことを仰しやいますと（身を八ツ裂にされましても左様なことをいたすものではございません。」

「では何を、あたしに納びようと……」

「この盃を御覧下さいまし。」

顔へる手で自ら片腕をぐつと絞めた庄吉は、今にも涙の溢れ落ちような眼を、おのが腕の上にちつと着た。

「あッ、こ、これは……」

驚ろしさと悲しさに、危うく倒れようとするお高の身を、庄吉はあわてて支へた。

「お嬢様。確かり、確かりなすつて下さいまし」

「ああ怨ろしい。お前の腕にこのやうな。……」

「どうかお嬢様、この庄吉を、打つなり殺るなり、存分にして下さいまし。愚かであつたばつかりに君にも知ら如間に、かうしたことをされてしまつたのでございます――わたくしはもう二度と、お嬢様にお会せする顔はございませんん」

「したが、この刺青を、お前どこで。……」

「さア、それを聞いて下さいますな。わたくしは恐ひ出しても、身の毛が竦つ立つばかりでございます。」

「お聞かせ。さもなければ、たゞしやべつばかりお前を、どこまでも疑らさになられない。――さ、どこで、誰にこのやうなことをされたのだえ。まさか長崎屋とやらいふお店では……」

「野の。――」

「山下にお屋敷のある、公方様のお醫師。――」

「エノ。」

「お高はそのまま庄吉の胸に顔をあてると、その瞬にのけ反つてしまつた。

するとそこく様かに現れたのはおころだつた。

「庄吉、お前、なぜいらぬことを喋つたのぢや。」

おころの眼には嫉があつた。

「お嬢様はお忘れでございませうが、あたしやお前と、もう一刻も離れてはられないのだつ、それだのに、この世に亡い者へとは。……と頼ねよ。お前はそれでもよからうが、あたしやお前を離れては、死んでも死に切れない。……構はないから云つてやれ。大事なお前の體に、こんなことをしたこのお屋敷といふのは……」

「お嬢様。――」

「庄吉。――」

「勘弁して下さいまし、これには上野の」

（圖は五二飛の途角の局面）

名家敗退將棋（四）

山北氏一回勝二回目

香落　六段　△山北孫三郎

四段　▲樋口義雄

一二三四五六七八九

▲樋口氏（特駒）歩

△山北氏（特駒）歩

▲四七銀△五四金▲六六銀△六四歩▲五五歩△五二金▲五六銀△六三金▲七五歩△五三飛▲五七銀

△樋口　四七銀は五五歩と打つては四五歩と突かれ又五六歩では五四金と出られて穏しい様に思つた

△山北　五四金の所で五五歩と打つて位を取る手もあつたが何となく重い感じがした

▲樋口　四五歩と突いても五六歩と打つても歩つで強く位を作ふ含みに指したが五五歩は五頭を睨ふ指過かも知れない敵陣を一掃かさない方がよいと思つた

△山北　六五歩と突かれた位を全く殺して取られたので飛の働きを狙つた

◇大崎八段講評　山北君の五四金に五五歩の手もある事で宜しくない香の六六銀と上り中央の位を強く伸つたのは元気があつてよかつた譯で仕五歩は敵陣の働きを阻止するきつで攻めるにはあるが決して急がないで差支ない。と云ふ様な場合には指過ぎになり逆に攻められる事を常に心掛けて行つた譯者は私達を常に教へて下さいます

▲段昇秋（十五號）「我國八ツ當り競技會」に出ると云ふ話は帝都の指導（長岡市出身）の紹介（名刺）その他（定價二十錢、東京市神田區花房町一丁目）

▲業十五號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業十六號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業十七號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業十八號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業十九號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業二十號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業二十一號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業二十二號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業二十三號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業二十四號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業二十五號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業二十六號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業二十七號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業二十八號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業二十九號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業三十號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業三十一號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業三十二號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業三十三號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業三十四號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業三十五號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業三十六號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業三十七號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業三十八號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業三十九號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業四十號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業四十一號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業四十二號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業四十三號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業四十四號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業四十五號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業四十六號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業四十七號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業四十八號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業四十九號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業五十號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業五十一號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業五十二號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業五十三號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業五十四號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業五十五號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業五十六號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業五十七號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業五十八號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業五十九號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業六十號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業六十一號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業六十二號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業六十三號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業六十四號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業六十五號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業六十六號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業六十七號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業六十八號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業六十九號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業七十號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業七十一號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業七十二號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業七十三號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業七十四號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業七十五號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業七十六號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業七十七號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業七十八號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業七十九號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業八十號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業八十一號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業八十二號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業八十三號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業八十四號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業八十五號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業八十六號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業八十七號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業八十八號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業八十九號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業九十號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業九十一號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業九十二號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業九十三號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業九十四號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業九十五號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業九十六號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業九十七號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業九十八號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業九十九號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百一號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百二號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百三號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百四號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百五號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百六號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百七號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百八號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百九號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百十號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百十一號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百十二號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百十三號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百十四號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百十五號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百十六號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百十七號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百十八號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百十九號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百二十號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百二十一號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百二十二號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百二十三號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百二十四號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百二十五號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百二十六號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百二十七號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百二十八號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百二十九號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百三十號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百三十一號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百三十二號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百三十三號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ橋通）に設けられた業務補習學校（定員四十名、授業料一ヶ月一圓）

▲業百三十四號　生活の安定を得ようと思ふ婦人達の為に、家庭の主婦として、又職業婦人として、必要な知識、技術を授ける目的で、東京府立第一高等女學校（千代田區一ツ

行政機構如不能改革 現內閣其總辭職貫徹

前田鐵相西下前披瀝決意

東京二十八日電。待海軍特別大演習舉。擬自十一月四日。開行政機構改革關係閣僚會議。且議內閣制度之改革。省之廢合。即現內閣之運命。實接有影響之問題。就中央制度所極重視。就中央制度改革所關四相會議二矢役之前田鐵相。二十七日午後九時三十分。偽親艦式陪親西下直向發表談話明示一天方針。披瀝決意如左。

一、當此同行政機構改革案云。

御諮詢事項整理 或如龍頭蛇尾歟

樞府警戒政府之擧動

東京二十八日電。樞密院。整理案之擧。相御諮詢事項整理問題。政當革新的。樞府承認之事。府乘此改一新之氣運。此際必欲決實現。以解決多年之懸案。裏法制局。作成整理案。提出樞府。既經月餘。未一折衝。且樞題。同反政府。豫期之改府所提提示對案。亦未提示。交涉停頓。即府內示頭蛇尾云。

極矩注目。來通常議會。或者川何形式爆發。亦未可知。即官僚萬能之風潮。歟人反感。政民兩黨。無不共通。政黨以官僚扶植其獨裁勢力。於各方面。設々努力實現之。例如本其獨善主義。改惡選舉法。統選舉民。公稱不前。竝奪其自由。且務利其立場。阻害地方分權。強化中央集權。大有行政機構充之傾向。最近國粹會社。族出如言旬。悉用官僚。盤補充。二名至三名。大體

政黨官僚對立尖銳 官僚頻行獨善主義 來議會且爆發

東京二十八日電。最近官僚與政黨。對立尖銳之事。

樞府顧問官 來月中補充

東京二十八日電。樞顧問官。方缺四名。政府與樞府間。近來共爲鉾選。大體意見一致。待海軍大演習畢。十一月中。或行出如言旬。悉用官僚。盤補充。二名至三名。大體

端境期用糖 不必追加

東京二十六日本社特電。關聯照本年度砂糖供給協定。調查來十一月。末現在需給狀態。調節國內供給。召集案所關。各省事務當局反對。政黨委員從而反駁。究議會召集期測上問題。非值一爭。恐爲政黨對官僚之反感之爆發云。

本年三月出庫額不足時。其不足數量。即由國內供給數量增減。若恐供給不足時。則照市場實情。以適當方法。行適當數量之追加供給。此規定前提。本年十月十五日現在出庫額。似不必如昨年度之追加供給。端境期。得以順調推移。萬一市場貨乏。須

外務軍部一致方針 轉達川越大使訓令

外相面交須磨總領事

東京二十八日電。發日華交涉局面打開策決定計。

桑島東亞局長。讚谷陸軍軍務局長。二十七日午後會於外務省。合須磨總領事。開催協議。共以帝國政府。必須堅持既定方針。照我要求事項。以謀國交調整。桑島東亞局長。真相。有田外相。協同三時半。招須磨總領事。於外相。當其歸任之時。外相時發訓令。即謂現地。華方尚有不徹底日方之意思。更宜使之徹底。解主張之公正妥當處。其第一要點。在日本之態度。與從來仍無所變。終始一貫。照當初目標前進。此間會商交涉。歸現地。報告川越大使。照所訓令。藉與華方折衝。期作華方整之我方強硬不動之態度。準備酌量。而與討論。便交涉早圓滿調整之。東京努力。

臺灣商工會議所法 考慮特殊事情制定（上）

臺灣商工會議所令。已見公布。就中所考慮臺灣特殊諸點如左。

一、商工會議所地區。以市爲區域。有特別事情時。乃以市及街庄合爲一地區。蓋因街庄商工業者少員擔能力。難以支出商工會議所。事業遂行上必要經費。

二、商工會議所之名稱使用強制。並保護。爲保持商工會議所信用權威。對商工會議所。必使用此名稱。若不照會議所。則禁止其濟用。違反者處以五百圓以下之過料。

三、設立之同意。欲設商工會議所。在內地朝鮮須得議員選舉權者。或會員之三分二以上同意。本島若得會員半數以上可已。

四、會員制度採用及其資格。本島民業團體生活訓練薄弱。乃與朝鮮同樣。凡具一定資格者。爲會員。使其負擔經費。中隊連絡。舉行統制演習。行軍計畫如左。

▲三十日午前四時半。發屯營。經由景尾、木柵、深坑、石碇、八分寮、石碇、獅頭嶺、午後三時三十五分抵中林駐營。

▲三十一日午前六時。發中林。經由鬱子寮、石碇、八分寮、深坑、木柵、景尾、屯營。午後三時半。到宜蘭半野。與宜蘭分隊中隊連絡。舉行統制演習。行軍計畫如左。

▲三十日午前四時半。發屯營。經由景尾、木柵、深坑、石碇、八分寮、石碇、獅頭嶺、午後三時三十五分抵中林駐營。

▲三十一日午前六時。發中林。經由鬱子寮、石碇、八分寮、深坑、木柵、景尾、屯營。午後三時半。到宜蘭半野。與宜蘭分隊中隊連絡。舉行統制演習。行軍計畫如左。

臺灣商工會議所 考慮特殊事情制定（上）

臺灣商工會議所令。已見公布。就中所考慮臺灣特殊諸點如左。

一、商工會議所地區。以市爲區域。有特別事情時。乃以市及街庄合爲一地區。蓋因街庄商工業者少員擔能力。難以支出商工會議所。事業遂行上必要經費。

二、商工會議所之名稱使用強制。並保護。爲保持商工會議所信用權威。對商工會議所。必使用此名稱。若不照會議所。則禁止其濟用。違反者處以五百圓以下之過料。

三、設立之同意。欲設商工會議所。在內地朝鮮須得議員選舉權者。或會員之三分二以上同意。本島若得會員半數以上可已。

四、會員制度採用及其資格。本島民業團體生活訓練薄弱。乃與朝鮮同樣。凡具一定資格者。爲會員。使其負擔經費。中隊連絡。舉行統制演習。行軍計畫如左。

山砲聯隊 連合演習

將行軍至宜蘭

臺灣山砲兵聯隊。訂來三十日午前四時半。由營出發。行軍經北宜關道路。到宜蘭半野。與宜蘭分隊中隊連絡。舉行統制演習。行軍計畫如左。

▲三十日午前四時半。發屯營。經由景尾、木柵、深坑、石碇、八分寮、石碇、獅頭嶺、午後三時三十五分抵中林駐營。

▲三十一日午前六時。發中林。經由鬱子寮、石碇、八分寮、深坑、木柵、景尾、屯營。午後三時半。到宜蘭半野。與宜蘭分隊中隊連絡。舉行統制演習。行軍計畫如左。

臺灣神社例祭

廿八日莊嚴舉式 總督爲幣帛供進使

臺灣大神、神社例祭。而第一聯隊。在北陸軍各部隊。實練習所生。在鄉軍人會員。日清戰軍。會員等參加。又于式後。市內各學校生徒。青訓生。各種團體。暨一般參拜者。終日絡繹不絕。大呈盛況。

紹介所開館

嘉義地方振興協會。爲圖

臺灣神社祭 餘興熱鬧

臺中神社祭典。奉納雜物。有下記。

臺中神社祭 嚴肅擧祭

嘉義神社 嚴肅擧祭

臺北公會堂邊 奉拜所 廿七日擧式

瓦斯噴出 誤爲火災大騷

專賣南門工場

競技入賞

東港招魂祭

端境期用糖 不必追加

東京二十六日本社特電。關聯照本年度砂糖供給協定。調查來十一月。末現在需給狀態。調節國內供給。召集案所關。各省事務當局反對。政黨委員從而反駁。究議會召集期測上問題。非值一爭。恐爲政黨對官僚之反感之爆發云。

本年三月出庫額不足時。其不足數量。即由國內供給數量增減。若恐供給不足時。則照市場實情。以適當方法。行適當數量之追加供給。此規定前提。本年十月十五日現在出庫額。似不必如昨年度之追加供給。端境期。得以順調推移。萬一市場貨乏。須

外務軍部一致方針 轉達川越大使訓令

外相面交須磨總領事

東京二十八日電。發日華交涉局面打開策決定計。

桑島東亞局長。讚谷陸軍軍務局長。二十七日午後會於外務省。合須磨總領事。開催協議。共以帝國政府。必須堅持既定方針。照我要求事項。以謀國交調整。桑島東亞局長。真相。有田外相。協同三時半。招須磨總領事。於外相。當其歸任之時。外相時發訓令。即謂現地。華方尚有不徹底日方之意思。更宜使之徹底。解主張之公正妥當處。其第一要點。在日本之態度。與從來仍無所變。終始一貫。照當初目標前進。此間會商交涉。歸現地。報告川越大使。照所訓令。藉與華方折衝。期作華方整之我方強硬不動之態度。準備酌量。而與討論。便交涉早圓滿調整之。東京努力。

臺灣商工會議所法 考慮特殊事情制定（上）

臺灣商工會議所令。已見公布。就中所考慮臺灣特殊諸點如左。

一、商工會議所地區。以市爲區域。有特別事情時。乃以市及街庄合爲一地區。蓋因街庄商工業者少員擔能力。難以支出商工會議所。事業遂行上必要經費。

二、商工會議所之名稱使用強制。並保護。爲保持商工會議所信用權威。對商工會議所。必使用此名稱。若不照會議所。則禁止其濟用。違反者處以五百圓以下之過料。

三、設立之同意。欲設商工會議所。在內地朝鮮須得議員選舉權者。或會員之三分二以上同意。本島若得會員半數以上可已。

四、會員制度採用及其資格。本島民業團體生活訓練薄弱。乃與朝鮮同樣。凡具一定資格者。爲會員。使其負擔經費。中隊連絡。舉行統制演習。行軍計畫如左。

山砲聯隊 連合演習

將行軍至宜蘭

臺灣山砲兵聯隊。訂來三十日午前四時半。由營出發。行軍經北宜關道路

（原時配達）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十一年十月二十九日　臺灣日日新報　（木曜日）　第一萬三千百四十四號　（一）

機械設計

全十巻

金屬材料

講座

東京帝國大學工學博士 **濱住松二郎**
東京帝國大學工學博士 **齋藤大吉**
東京帝國大學工學博士 **三島徳七**
京都帝國大學工學博士 **西村秀雄**

近代重工業の凡ゆる部面に於て金屬材料は最重要な要素となつてゐる。本講座は此等の要望に副ふために學界及業界の各一流權威が執筆した完璧の內容。群書を拔いて推奨する最適本！

全十卷（一回配本一冊）
申込金一圓八拾錢（送料共）
（特價一圓五拾錢）
（特價一圓三拾錢）
（特價一圓五拾錢）
（特價一圓五拾錢）
（特價一圓五

英、米、支三國間に原則的協定成る

香港中繼案を承認

【上海二十八日發同盟】米支航空連絡について、中國航空公司總經理宋子良氏と英太平洋會社檢査役ハンクスビー氏が香港に赴き香港政廳と交渉中であつたが、愈〻三國間に原則的協定の大綱成立を見るに至つたと確聞する、而して右協定の骨子は

一、米支航空連絡は桑港上海間とす

一、其の內汎太平洋會社所屬機は桑港、香港間を連絡し香港、上海間は中國航空公司が分擔す

一、英國は香港に米支航空連絡の爲エアーポート格納庫其他必要なる一切の設備を行ふ事を承認す

◇

【上海二十八日發同盟】英國側が米支航空連絡に香港を提供した代償として英國のインペリアル・エアウエイの上海延長機を支那側から獲得したるものゝ如く、右の製空機の搬出に對し我が出先官憲は軍、財兩方面に於て考慮を拂つてゐる

英國の軍事的意圖

プラタス島に重要設備

【上海二十八日發同盟】羅馬發ロイター通信社の傳ふるところによれば、英國は南支那海のプラタス島に飛行機著陸場の擴張を求めた事に關し同島に飛行場無電臺其他の設備をイギリスの手でなす諒解が成立したと傳へられる、而してイギリスは右を旅客機の燃料補給の必要上表面の理由としてゐるが實は軍事上の見解に依れば現在使用の航空機はシンガポール香港間航續力に限界があるので右設備は軍用機に

對支航空進出

【上海二十八日發同盟】米支航空連絡について曩に中國航空公司總經理宋子良氏と英太平洋會社檢査役ハンクスビー氏が香港に赴き香港政廳と交渉中であつた事實を探知したが、愈〻三國間に原則的協定の大綱成立を見るに至つたと確聞する、而して右協定の骨子は

一、米支航空連絡は桑港上海間とす

一、其の內汎太平洋會社所屬機は桑港、香港間を連絡し香港、上海間は中國航空公司が分擔す

一、英國は香港に米支航空連絡の爲エアーポート格納庫其他必要なる一切の設備を行ふ

◇

【上海二十八日發同盟】英國側が米支航空連絡に香港を提供した代償として英國のインペリアル・エアウエイの上海延長機を支那側から獲得したるものゝ如く、右の製空機の搬出に對し我が出先官憲は軍、財兩方面に於て考慮を拂つてゐる

四省軍事會議

陳誠氏西安に到り蔣介石氏に復命

【北平二十八日發同盟】豫北の匪賊討伐に關し、豫、魯、冀、察四省軍事當局者の會合を開くことに決し、陳誠氏は二十七日夜西安に到着、蔣介石氏に復命した、これにより豫北の匪賊討伐は愈〻本格的に實施されることゝなつた

明年度豫算は

卅億圓に達せん

財政史上空前の巨額

【東京二十八日發】大藏省の昨年度豫算編成中の明年度豫算は來月十日頃より各省各廳に割り當て發表されるが、豫算總額は二十億圓を突破するものと豫想されてゐる、而して右豫算は陸軍豫算と海軍豫算と合せて約十億圓に上るものと豫想されてゐる

抗日救國會の暗躍

張群氏は一應辭意表明か

【上海二十八日發同盟】南京政府中國航空公司の上海、羅總間を香港まで延長する事に依つて米支航空連絡の實現を見るに至つたが、之が實現せるは米英の協定中最も注目すべき點で列國の極東航空交渉の進展につれ日支間の連絡が

日支間の連絡に先手で割込む

佛蘭西も虎視眈々

【上海二十八日發同盟】歐洲中國航空公司の上海、羅總間を香港まで延長する事に依つて米支航空連絡を實現せるは、米英の協定中最も注目すべき點で列國の極東航空交渉の進展につれ日支間の連絡が

革命軍首都へ進撃

政府軍重圍に陷る

【南京二十八日發】南京政府は二十七日夜、軍事委員會を開き、討伐軍總司令何應欽將軍より廣東軍の動向に關する報告を聽取したる後、左の如き決議を爲した

一、中央政府を擁護し、國家の統一を破壞する者は、何人たるを問はず、これを討伐す

一、中央政府は、軍事委員會に對し、討伐軍總司令何應欽將軍に對し、全權を委任す

一、軍事委員會は、何應欽將軍の報告に基き、廣東軍の動向に關する情報を發表す

一、軍事委員會は、何應欽將軍の報告に基き、廣東軍の動向に關する情報を發表す

日支主張の懸隔

依然甚だし

川越大使、高司長と會見

【南京二十八日發】川越大使は二十八日午前十時、外交部に高司長を訪問し、會談一時間に亘り會談したが、會談內容は發表されない、尙會談は午後も繼續されるものと豫想されてゐる

貴族院視察團

來臺遲延

廿九日高雄入港

【高雄電話】貴族院議員の南洋視察團一行を乘せた二十五日マニラ出港した商船しか丸は、二十八日午前六時高雄入港の豫定であつたが、風波の爲め船脚が遲れ二十九日未明に變更された

駐支佛大使の暗躍は誤傳

天羽情報部長に對し辯明

【東京二十八日發】駐支佛大使館首席參事官ドイアンス男はカメル大使の命を受け二十七日午後外務省に天羽情報部長を訪ひ、駐支佛大使デジャール氏が廣田外相等と日支交渉を挫折せしめるために暗躍したりとの風說はつてゐるが、佛國は飽く迄も日支間の親善を希望してゐるとの意を傳へ、且つ日支交渉の成立を切望してゐるとの意を傳へた、これに對し天羽部長は、佛國大使館の態度に感謝の意を表すると共に、日本の眞意は東亞の平和を確保するにあり、日本は佛國の東亞に於ける地位を尊重するものであるから、佛國大使館は日本の眞意を了解し、日支間の親善關係增進に努力されたいと述べた

空軍强化案

佛國閣議で採擇

千機（建造なし）

【パリ二十七日發同盟】フランダン內閣は二十七日閣議を開き、空軍强化案を採擇した、その內容は

一、從來整理されて來た飛行機千機（建造なし）を增加する

一、新飛行場を增設する

一、ガソリン貯藏所を增加する

一、空軍將兵を增員する

一、試驗飛行場について、ボルドーを中心とするアクイテーヌ方面に集結する

滿鐵の新計畫

藏相も支持

松岡總裁と近く會見

【東京二十八日發】松岡滿鐵總裁は二十九日午後上京、三十日藏相を訪問し滿鐵の新計畫に關し懇談する筈であるが、藏相は滿鐵の新計畫を支持する意向を有してゐるので、兩者の會見は圓滿に終了するものと豫想されてゐる

總督、軍司令官を招き

平定紀念會の例會

手柄話に往時を偲ぶ

【臺南電話】臺南州下在鄉軍人會聯合會では、例會を開き、總督、軍司令官を招き、手柄話に往時を偲ぶ事になつた、尙ほ例會は年一回開くことゝなつた

佛國の統治策は

極端な搾取主義

疲弊し切つた佛印土民

上田宋堂

南洋を忘れた

抗日救國會の暗躍

張群氏は一應辭意表明か

【上海二十八日發同盟】南京政府中國航空公司の上海、羅總間を香港まで延長する事に依つて米支航空連絡を實現せるは、米英の協定中最も注目すべき點で列國の極東航空交渉の進展につれ日支間の連絡が

革命軍首都へ進撃

政府軍重圍に陷る

【南京二十八日發】南京政府は二十七日夜、軍事委員會を開き、討伐軍總司令何應欽將軍より廣東軍の動向に關する報告を聽取したる後、左の如き決議を爲した

一、中央政府を擁護し、國家の統一を破壞する者は、何人たるを問はず、これを討伐す

一、中央政府は、軍事委員會に對し、討伐軍總司令何應欽將軍に對し、全權を委任す

一、軍事委員會は、何應欽將軍の報告に基き、廣東軍の動向に關する情報を發表す

日支主張の懸隔

依然甚だし

川越大使、高司長と會見

【南京二十八日發】川越大使は二十八日午前十時、外交部に高司長を訪問し、會談一時間に亘り會談したが、會談內容は發表されない、尙會談は午後も繼續されるものと豫想されてゐる

駐支佛大使の暗躍は誤傳

天羽情報部長に對し辯明

【東京二十八日發】駐支佛大使館首席參事官ドイアンス男はカメル大使の命を受け二十七日午後外務省に天羽情報部長を訪ひ、駐支佛大使デジャール氏が廣田外相等と日支交渉を挫折せしめるために暗躍したりとの風說はつてゐるが、佛國は飽く迄も日支間の親善を希望してゐるとの意を傳へた、これに對し天羽部長は、佛國大使館の態度に感謝の意を表すると共に、日本の眞意は東亞の平和を確保するにあり、日本は佛國の東亞に於ける地位を尊重するものであるから、佛國大使館は日本の眞意を了解し、日支間の親善關係增進に努力されたいと述べた

特別委員會を

民政黨が設置

機構改革問題で

【東京二十八日發】行政機構改革問題に關し民政黨は二十八日午後部

貴族院視察團

來臺遲延

廿九日高雄入港

【高雄電話】貴族院議員の南洋視察團一行を乘せた二十五日マニラ出港した商船しか丸は、二十八日午前六時高雄入港の豫定であつたが、風波の爲め船脚が遲れ二十九日未明に變更された

空軍强化案

佛國閣議で採擇

千機（建造なし）

【パリ二十七日發同盟】フランダン內閣は二十七日閣議を開き、空軍强化案を採擇した、その內容は

一、從來整理されて來た飛行機千機（建造なし）を增加する

一、新飛行場を增設する

一、ガソリン貯藏所を增加する

一、空軍將兵を增員する

一、試驗飛行場について、ボルドーを中心とするアクイテーヌ方面に集結する

滿鐵の新計畫

藏相も支持

松岡總裁も近く會見

【東京二十八日發】松岡滿鐵總裁は二十九日午後上京、三十日藏相を訪問し滿鐵の新計畫に關し懇談する筈であるが、藏相は滿鐵の新計畫を支持する意向を有してゐるので、兩者の會見は圓滿に終了するものと豫想されてゐる

總督、軍司令官を招き

平定紀念會の例會

手柄話に往時を偲ぶ

【臺南電話】臺南州下在鄉軍人會聯合會では、例會を開き、總督、軍司令官を招き、手柄話に往時を偲ぶ事になつた、尙ほ例會は年一回開くことゝなつた

佛國の統治策は

極端な搾取主義

疲弊し切つた佛印土民

上田宋堂

台灣名產 內地みやげの最適品 蓬萊びーふん 一袋拾錢 發賣元 名北市 協益商店 電話二八〇二番
台灣名產 內地みやげの最適品 蓬萊びーふん 一袋拾錢 發賣元 名北市 協益商店 電話二八〇二番
秋冬向服地豐富着荷 洋服は 丹川 台北市榮町一 電話二四四番
洗濯二八 アデカ石鹸 發賣元 台北 藤田商店
「ヒフノ」ベルツ水 電話二七八三番 ヒフノ專賣特許 平野文男製
冷風吹き初める頃……貴婦の肌を護るものは
台灣名產 內地みやげの最適品 蓬萊びーふん 一袋拾錢 發賣元 名北市 協益商店 電話二八〇二番
台灣特產毒蛇純精酒 向井祐雄商店 全島台灣物產店にあり
福血劑 龍精 精力素
佐佐木製藥所 大 天然
玉子製 藥パン粉 發賣元 臺北 藤田商店
カメネ 台北第一 金光堂 台北市三板橋出張所
高級 東門治淋藥 一五日分 一五日分五圓 東門藥舖
何はふくとも朝は味噌汁 ひまわり 亀甲萬醬油販賣會社
福福力七藥 發賣元 臺北 南門藥局

朝日丸 十月二十日後四時發 大和丸 定期 十月二十日後四時發 吉野丸 十月二十日後四時發 東京直行 基隆丸 十月二十日後四時發 其他臨時多數あり 臺北三六五〇
門司 神戸行 基隆丸 十月二十日後四時發 門司 神戸行 高千穗丸 十月二十日後四時發 盛京丸 十月二十日後四時發 長崎 上海行 福州丸 十月二十日後四時發 香港 上海行 廈門 汕頭 福州 廣州 上海行 鹿兒島 長崎 大阪 神戸行 福州丸 十月二十日後四時發 廈門 汕頭 香港行 鹿兒島 長崎 大阪 神戸行 福州丸 十月二十日後四時發 基隆 門司行 高千穗丸 十月二十日後四時發 盛京丸 十月二十日後四時發 長崎 上海行 福州丸 十月二十日後四時發 香港 上海行 廈門 汕頭 福州 廣州 上海行 鹿兒島 長崎 大阪 神戸行 福州丸 十月二十日後四時發 廈門 汕頭 香港行 鹿兒島 長崎 大阪 神戸行 福州丸 十月二十日後四時發 基隆 門司行 高千穗丸 十月二十日後四時發 盛京丸 十月二十日後四時發 長崎 上海行 福州丸 十月二十日後四時發 香港 上海行 廈門 汕頭 福州 廣州 上海行 鹿兒島 長崎 大阪 神戸行 福州丸 十月二十日後四時發 廈門 汕頭 香港行 鹿兒島 長崎 大阪 神戸行 福州丸 十月二十日後四時發
沖繩行 那覇丸 十月二十日後四時發 高雄 廈門行 江蘇丸 十月二十日後四時發 但シ那覇丸ハ廈門ヘ寄港セズ 比律賓行 ルソン丸 十月二十日後四時發 但シ那覇丸ハ廈門ヘ寄港セズ
大阪船 臺灣出帆 門司 神戸行 臺榮丸 十月二十日後四時發 門司 神戸行 高千穗丸 十月二十日後四時發 盛京丸 十月二十日後四時發 長崎 上海行 福州丸 十月二十日後四時發 香港 上海行 廈門 汕頭 福州 廣州 上海行 鹿兒島 長崎 大阪 神戸行 福州丸 十月二十日後四時發 廈門 汕頭 香港行 鹿兒島 長崎 大阪 神戸行 福州丸 十月二十日後四時發 基隆 門司行 高千穗丸 十月二十日後四時發 盛京丸 十月二十日後四時發 長崎 上海行 福州丸 十月二十日後四時發 香港 上海行 廈門 汕頭 福州 廣州 上海行 鹿兒島 長崎 大阪 神戸行 福州丸 十月二十日後四時發 廈門 汕頭 香港行 鹿兒島 長崎 大阪 神戸行 福州丸 十月二十日後四時發
近海郵船 臺灣出帆 門司 神戸行 十月二十日後四時發 大連汽船 臺灣出帆 大連直行 十月二十日後四時發 辰馬汽船 臺灣出帆 神戸 大阪行 十月二十日後四時發

現在及將來への臺灣產業經濟界

全島實業大會席上での

田端殖產局長挨拶（完）

畜產　次に本島の畜産は農業の發展と相俟つて著しく進歩發展の徴候を示して居りますが、尚ほ一層の發展を期する爲には、畜産の改良増殖を圖ると共に、飼料の供給を豊富ならしむる爲、牧草栽培の奬勵、飼料作物の栽培、副産物の利用等に關し、適切なる施設を爲す必要があると考へます。

工業　本島工業界は、日月湖水力發電所の竣工を一轉機として、本年度より之が實施に着手する事となりました。從來馬關條約の改正に伴ひ、本島の工業は、從來の保護政策の下に發達して來たのでありますが、今後は、從來の保護政策の外に、更に進んで、工業の合理化を圖り、生産費の低減を期し、以て内地の工業と對抗し得る實力を養成する事が必要であると考へます。

商業　本島の商業は、從來内地との關係が密接であつたため、内地の商業界の變遷に伴ひ、本島の商業界も、亦變遷を免れないのであります。從來の商業は、内地の商業界の變遷に伴ひ、本島の商業界も、亦變遷を免れないのであります。從來の商業は、内地の商業界の變遷に伴ひ、本島の商業界も、亦變遷を免れないのであります。

臺拓　臺拓は、從來、主として、農業の發展に關する事業を經營して參りましたが、本島の經濟界の變遷に伴ひ、從來の事業の外に、新たに、工業、商業、金融等の事業にも、進出することに、なつたのであります。

總督府　總督府に於ては、從來、主として、農業の發展に關する事業を經營して參りましたが、本島の經濟界の變遷に伴ひ、從來の事業の外に、新たに、工業、商業、金融等の事業にも、進出することに、なつたのであります。

結語　以上述べました通り、本島の經濟界は、從來、主として、農業の發展に關する事業を經營して參りましたが、本島の經濟界の變遷に伴ひ、從來の事業の外に、新たに、工業、商業、金融等の事業にも、進出することに、なつたのであります。

砂糖消費稅改正と會社側の豪むる影響

糖價下落、稅負擔增の二重打撃

白糖中心會社は愈よ不利

【東京二十八日發本社特電】砂糖消費稅改正に伴ひ今回實施の運びとなつたその改正の要點並に之が會社側の受くる影響を見るに、稅率の二割四分引上げに當つて消費數量を現在の儘とするとの假定の下に於ては、その增收額は約一千二百萬圓と見られるが、この增收は全く消費者の負擔に歸するものであつて、會社側としては何等の利益なく、寧ろ消費數量の減少に伴ひ、從來の利益の一部を失ふ結果となるであらう。

稅負擔增　今回の改正に於ては、從來の稅率の二割四分引上げに當つて消費數量を現在の儘とするとの假定の下に於ては、その增收額は約一千二百萬圓と見られるが、この增收は全く消費者の負擔に歸するものであつて、會社側としては何等の利益なく、寧ろ消費數量の減少に伴ひ、從來の利益の一部を失ふ結果となるであらう。

消費減　今回の改正に於ては、從來の稅率の二割四分引上げに當つて消費數量を現在の儘とするとの假定の下に於ては、その增收額は約一千二百萬圓と見られるが、この增收は全く消費者の負擔に歸するものであつて、會社側としては何等の利益なく、寧ろ消費數量の減少に伴ひ、從來の利益の一部を失ふ結果となるであらう。

白糖中心　今回の改正に於ては、從來の稅率の二割四分引上げに當つて消費數量を現在の儘とするとの假定の下に於ては、その增收額は約一千二百萬圓と見られるが、この增收は全く消費者の負擔に歸するものであつて、會社側としては何等の利益なく、寧ろ消費數量の減少に伴ひ、從來の利益の一部を失ふ結果となるであらう。

會社は愈よ不利　今回の改正に於ては、從來の稅率の二割四分引上げに當つて消費數量を現在の儘とするとの假定の下に於ては、その增收額は約一千二百萬圓と見られるが、この增收は全く消費者の負擔に歸するものであつて、會社側としては何等の利益なく、寧ろ消費數量の減少に伴ひ、從來の利益の一部を失ふ結果となるであらう。

改正要點に就て

總督府　江藤稅務課長談

今回の一般會計改正に伴ひ今般臨時議會に提出せらるゝ砂糖消費稅及大臣會との間に於ける協定事項の概要は左の如し

第一の點　從來の稅率に二割四分を加へたこと

第二の點　從來本邦に於ては專ら粗糖を輸入し之を精製して消費に供して來たのであるが、今回の改正に於ては、從來の稅率に二割四分を加へたこと

第三の點　近時砂糖等の輸入狀態に鑑み、從來の稅率に二割四分を加へたこと

糖稅改正による各種糖への影響

黑糖に次て赤糖も

精糖の立場は不

鎌倉ハムが臺灣で製造計畫

臺北附近に工場を設け南洋輸出を目指す

新營第二工場

竣功は本年末の見込

一月初に始業豫定

一期蓬萊早生種

明年から臺南州に激增

各方面に好影響が多い

臺灣製糖總會

臺灣產糖總會

臺灣肥料

大連特產

大連材料

大連特產出來高

神戶豆粕

神戶市中相場

東京短期總取組

東京短期配當銘柄

東京短期喰合

東京長期後場

東京短期後場

東京株式短期喰合

東京長期總取組

東京株況後場

東京株況前場

大阪清算

大阪株式後場

大阪株式前場

大阪短期後場

大阪長期後場

東京短期後場

東京長期後場

大阪神戶期米

堂島米況後場

堂島米況前場

堂島雜穀

神戶期米後場

東京期米後場

各地正米

各地期米引跡筆

商況

帝產主催の全國果物展

來月中旬大阪で

砂糖

絲況

橫濱生絲

淋病

新發賣　急性・慢性・婦人用

普及藥　一四九〇

本品發賣の目的は從來より一層簡易低廉にして本劑特有の治療力を擴張し患者の病苦を一日も早く緩和する爲めですから來診困難者は郵便御使用下さい。

詰るべき治療の特長

用量……一回〇・五瓦

時間……一回二分間一

用法……安全簡易

（通信用藥對象）

右記の如く優れた特長にて淋病を短日時に治癒する本劑の出現は實に從來の治療界に一大革命を與へるものと云つても過言ではありません。

從來の治療法は、それを使用する醫師に於ても、又それを使用する患者に於ても、共に多大の苦痛と時間とを犧牲にしなければならなかつたのであります。

本劑は、それ等の缺點を悉く除去し、僅かに一回二分間の注射で、從來の治療法の數倍の效果を擧げ得るのであります。

本劑は